

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	バキュームクリーナー VAC-920	※お買い上げ日	保証期間
		平成 年月日	1年
※お客様	ご住所	〒	
	ご芳名		
	電話	()	
販売店	住所		
	店名	☎	()

※上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

お客様
相談窓口

商品・修理品についてのお問い合わせは…

03-3252-8861

修理品の送り先…

〒340-0002 埼玉県草加市青柳6-30-9
株式会社 新興製作所 埼玉工場
TEL:048-931-4151

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田絣屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

乾湿両用バキュームクリーナー

VAC-920 取扱説明書



このたびはバキュームクリーナーをお買上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守って下さい。
- ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
- お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
国本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警 告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- ・作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- ・作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ・ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- ・暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- ・可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないで下さい。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れないで下さい。
- ・作業場の近くに作業者以外の人がいたり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないで下さい。
- ・感電の恐れがあり大変危険です。

△ 警 告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- ・表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をして下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
- ・ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させてください。
- ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具(スパナ、ネジ回し等)は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業するために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

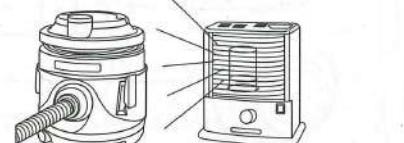
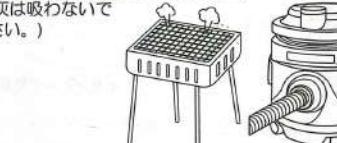
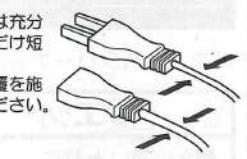
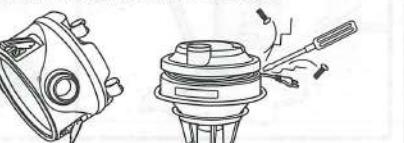
5.手入と保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期間安全にご使用ください。
- 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

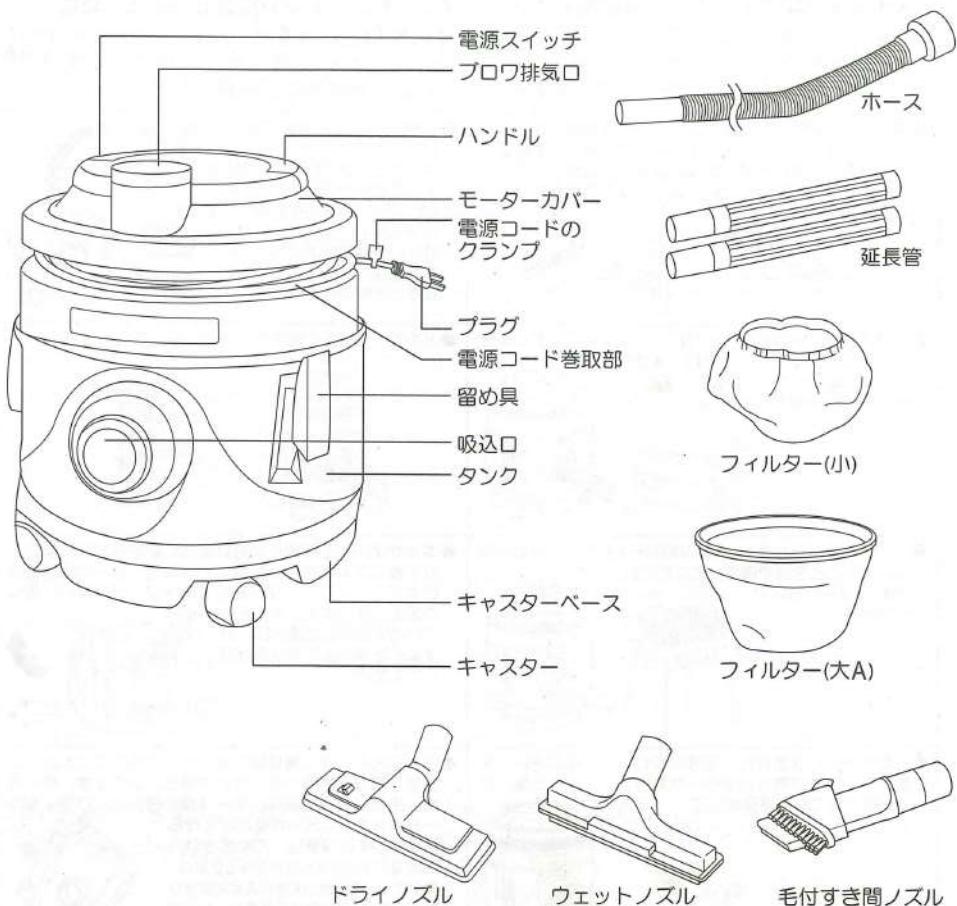
注前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

使用上のご注意

- スイッチが切れていることを確認してから、プラグをコンセントに差し込んでください。
※本製品は乾湿両用型ですが、水・汚水等の液体に使用されると、排気口周辺より水分が吹き出す恐れがあります。使用後はフィルター、モーターカバーをよく乾かしてからご使用ください。また、ご使用中は、本体周辺への水分の飛散等にご注意ください。

<ul style="list-style-type: none"> ●電圧100Vで使用してください。プラグを電源に差し込む時、抜く時は、必ずスイッチが切れていることを確認してください。また停電の際は、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。コードはプラグを持って抜いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必ずフィルターを取り付けてからご使用ください。フィルターを付けないと使用すると故障の原因となります。但し、フィルター(小)をつけたまま水を吸い込ませますと水が噴き出すことがあります。水が噴き出す時はフィルター(小)をはずして使用してください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●使用フィルターは微粉じん対応フィルターではありませんので微粉じん等(セメント粉・メリケン粉・米ぬか・チョークの粉・コピー機のトナー等)は吸えません。 	<ul style="list-style-type: none"> ●火の近くや高温の場所では使用しないでください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●ストーブやバーベキュー等の掃除をする時は、消化が完全であることを必ず確認してください。(熱い灰は吸わないでください。) 	<ul style="list-style-type: none"> ●本機が使用中に転倒した時は直ちに電源を切り、本機を立て直してください。転倒したままモーターの回転を続けますと、フロートが作動してモーターが焼損し、火災の原因となります。水を吸っている時転倒した場合は、必ずよく乾燥させてから再使用してください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●洗剤やそれらを含む水、泡等は吸わないでください。排気口から泡等が吹き出す恐れがあります。洗った後、必ず乾燥させてから再使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タンク内のゴミは清掃終了後、すぐに捨ててください。放置すると悪臭やカビ・サビの原因になります。特に汚水・汚物を吸った後は、ホース類、タンク及びフィルターを真水でよく洗い乾燥させてから使用もしくは保管してください。(海水など塩分を含んだ水を吸った後は、真水でよく洗い流してからよく乾燥させてください。そのままにすると、サビの原因になります。) 
<ul style="list-style-type: none"> ●排気口はふさがないでください。モーターの熱が上がり、焼損の原因になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●清掃をする時は、電源コードを全部引き出してからご使用ください。 ●延長コードが必要な場合は充分な太さのコードでできるだけ短くお使いください。自安として本機と同じ被覆を施したコードを使用してください。 
<ul style="list-style-type: none"> ●ホース類、本体の手入れは水または中性洗剤を含ませた布で行ってください。ベンジン、シンナー類は使わないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障の際は、必ず修理に出してください。絶対にご自分で分解したり、改造をしないでください。 

各部の名称



図バキュームクリーナーのパーツはタンク内に収納されています。

使用例

バキュームクリーナーは色々な掃除にご使用いただけます。



仕様

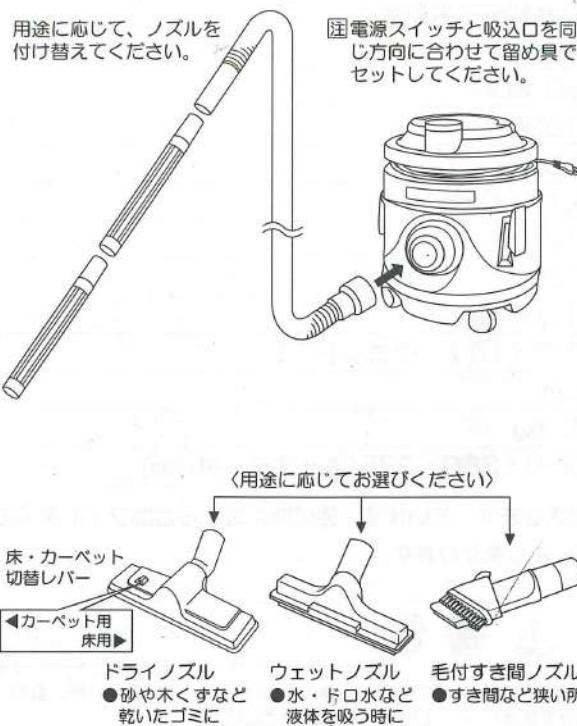
電動機	直巻整流子電動機
電源	100V
周波数	50/60Hz
消費電力	1030W
電流	10.5A
回転数	21,000min ⁻¹
真空度	19kPa
吸込仕事率	190W
最大風量	1.8m ³ /min
吸込容量	ドライ10ℓ ウエット7ℓ
コードの長さ	5m
質量	6.3kg
本体の寸法	330×340×375(キャスター付)(mm)

吸込仕事率は吸込力の目安で、最大を表示しています。使用時の吸じん力はフィルターの汚れ、ゴミのたまり具合、床材等により異なります。

警告

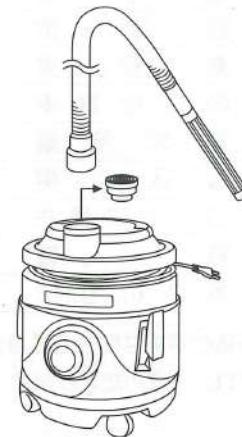
●整流子モーターを使用している為、内部から火花が発生し見えることがあります。故障ではありません。絶対にガソリン・ガス・塗料・接着剤などの引火性・爆発の恐れがある場所では使用しないでください。 	●小さなお子様の手の届く所、湿気の多い所、直射日光の当たる所などには、保管しないでください。
●引火性のものや、消火が完全でなく熱をもった燃えかすやタバコの吸いがら、また刃物(カミソリの刃、カッターの刃など)や針のような鋭利なものは危険ですので吸わないでください。 	●本製品は防水型ではありません。上部モーター部は絶対に水洗いしないでください。また、屋内用ですので、雨の中では使用しないでください。感電の恐れがあります。

組み立て方

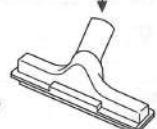


プロワのご使用方法

- ①プロワ排気口のフィルターを抜いてください。
- ②プロワを使用しない時は必ずフィルターを差し込んでください。



<用途に応じてお選びください>



◆カーペット用
床用

ドライノズル
●砂や木くずなど
乾いたゴミに

ウェットノズル
●水・ドロ水など
液体を吸う時に

毛付すき間ノズル
●すき間など狭い所に
液体を吸う時に

フロート(水分吸収量安全装置)について

- 水がタンク一杯になると、フロートが作動し、吸入を中止します。

フロートが作動すると、異常音が発生します。(電源は切れません)

すみやかに電源を切り、タンク内の水を捨ててください。再度電源を入れると、正常になります。

- フロートは、本体が倒れた時なども作動します。その際は電源を切り本体を立て直し、再度電源を入れてください。

- フロートが作動したまま使用、放置すると、モーターに負担がかかり、モーター焼損・火災の原因になりますのでご注意ください。

- 本製品は乾湿両用型ですが、水・汚水等の液体に使用されると、排気口周辺より水分が吹き出す恐れがあります。使用後はフィルター、モーターカバーをよく乾かしてからご使用ください。また、ご使用中は、本体周辺への水分の飛散にご注意ください。

温度上昇保護装置について

- 温度上昇保護装置とは、モーターの温度が上昇したときに自動的に電源が切れ、モーターが止まる安全装置です。

- 温度上昇保護装置が作動した場合は、すぐにスイッチを切り、電源からプラグを抜いてください。

注)温度上昇保護装置が作動したままスイッチを切らずに放置すると、自動復帰して電源が入り、モーターが作動して思わぬ事故につながることがありますので、ご注意ください。

- 温度上昇保護装置は、作動してから約30分位経過しますとモーターの温度が下がり、正常運転できますので、本機を点検して異常がなければ、スイッチを入れて再使用してください。

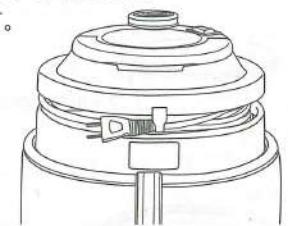
電源コードの収納について

- 清掃作業をする時は、電源コードを全部引き出してから使用してください。

- 電源コードの収納はモーターカバーの中間部についています。

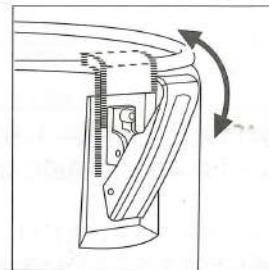
●プラグの横についているクランプを引き抜き、
電源コードを引き出してください。

- 清掃が終わりましたら収納部に巻き付け、プラ
グをモーターカバーに差し込んでください。



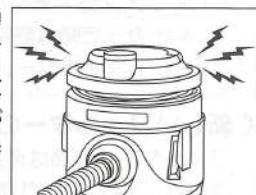
ゴミの処理

- タンク内のゴミは、清掃終了後すぐに捨ててください。放置されますと、悪臭やカビ、サビなどの原因になります。(留め具を外してゴミを捨ててください。)



— 整流子モーターについて —

- モーターは、カーボンブラシを使用して
います。カーボンブラシは消耗品です
で、交換時期(約500時間使用)が来まし
たら本製品お買い上げの販売店へお問い合わせください。

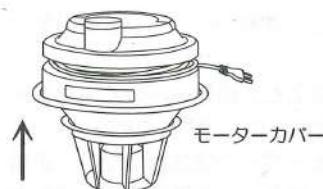


— 作動音について —

- 本製品は、強力な吸引力を得て
いるため若干大きめの作動音が
しますが故障ではありません。

フィルターのお手入れ

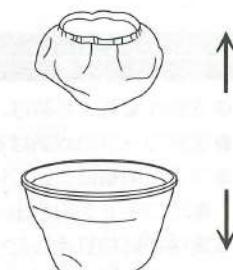
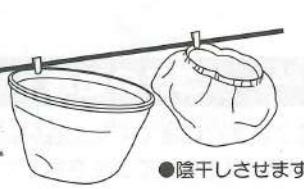
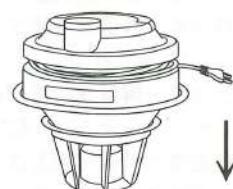
①モーターカバー・フィルターの順に本体から外します。



②通常は、フィルター一面を軽くたたいてちり落としてください。汚れによる目詰まりがひどい場合は、水洗いをして、乾燥させてください。



③フィルター・モーターカバーの順に本体にもどします。



注意

- フィルターが目詰まりしますと吸込力が弱くなるばかりでなく、モータートラブル(モーター部の温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターの焼損など)の原因になりますので、定期的にフィルターの清掃をしてください。
- 水・ドロ水等の液体を吸わせた場合は、使用後必ずフィルターの水洗いを行い、完全に乾燥させてからセットしてください。(フィルターがぬれたままゴミを吸い込ませると吸引力が弱くなります。)
- 使用フィルターは微粉じん対応フィルターではありませんので微粉じん等(セメント粉・メリケン粉・米ぬか・チョークの粉・コピー機のトナー等)は使えません。又、微粉じんを吸った時は静電気が起きることがありますが漏電ではありません。直ちに作業を中止してフィルター、ホース、延長管を水洗いしてください。

〈新しいフィルターの交換時期〉

フィルターの寿命は使用頻度、使用状況等により差が生じますが、フィルターの損傷(糸のほつれ、やぶれなど)がひどい場合は、そのフィルターの寿命と考えられますので新しいフィルターに交換してください。

アフターサービスについて

●本製品に異常が生じた時は、次の点をお調べになって、それでも不具合な場合は、お買い上げの販売店又は当社にご連絡ください。

こんなときは	調べるところ	直しかた
モーターが回転しない	差込プラグ	●コンセントにしっかり差し込まれてますか。 差し込み直してください。
吸込力が弱くなった	ホース	●ホース及び延長パイプ類がしっかり差し込まれていますか。差し込み直してください。 ●ゴミがつまっていますか。ゴミを取り除いてください。 ■ゴミがつまつたまま使用すると、モーターの温度が上昇して焼損、火災の恐れがあります。
	タンク内部	●タンク内部がゴミで一杯になってしまいか。また、水が一杯になって安全装置が作動していませんか。ゴミを捨ててください。
	フィルター	●フィルターが目詰まりをしていませんか。 フィルターを清掃してください。
ホースが接続部分から外れた場合	ホースの接続部分	●ホースを時計と反対方向に回しながら接続部分の奥まで、しっかりとねじ込んでください。